

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 高冷地及び内陸性の気候であることから、昼夜の寒暖差が大きく、その気候を活かした、夏ほうれんそうや夏秋トマトなどの高冷地野菜の栽培が盛んな地域。

【支援内容・背景】

- 地区では、トマト栽培の拡大のため、県、市、JAが一体となり夏秋トマト産地づくりに取り組んでいる。
- 助成対象者は、規模拡大、新規品目導入による周年雇用、法人化を行い、地域の中心的な経営体としてリーダー的な存在である。更なる経営規模拡大に向けボトルネックとなっていた耕運などの作業の効率化を支援。



助成対象者「(株)アルプス農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成11年 就農(トマト60a)
- 平成15年 菌床しいたけ栽培開始
- 平成18年 外国人研修生受入れ
- 平成20年 パプリカ栽培開始
- 平成21年 法人化
- 平成22年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 更なる経営規模拡大のためには、収穫後や雪解け後間を置くことなく行う必要がある耕運など作業の効率化と労働力の確保が必要であった。そのため、トラクター等の機械を導入して作業の効率化を図るとともに、必要となる労働力に関し、パート従業員を正社員化して基幹的業務を任せるなど、業務体制の整備を図る。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○売上高	132百万円
○栽培規模	
トマト	209a
パプリカ	24a
菌床しいたけ	4.3万ブロック
○雇用人数	
正社員	3人
パート	4人
外国人材	6人

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
- ローダー 1台



事業費 3,965 千円
(国費 1,081 千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上(R5)	187百万円 (142%)
○栽培規模	
トマト	228a (109%)
パプリカ	24a (100%)
菌床しいたけ	4.3万ブロック (100%)
○雇用人数	
正社員	7人
外国人材	6人

事業の
効果

《対象者》 主要品目であるトマトの栽培面積拡大が実現し、売上高の増加が実現した。また、パート従業員の正社員化による経営の安定化を図るとともに、外国人労働者の活用により、労働力不足をカバーしている。

《地区》 パート従業員の正社員化により、労働力の安定化につながるとともに、地域において雇用機会が創出された。また、外国人労働力の活用などにより、地域における法人化のモデルとなっている。